



学校案内2023

[2024年度入学生用]

愛知県立 名古屋西高等学校

Aichi Prefectural Nagoya Nishi Highschool

全日制課程 ≫ 普通科・創造表現コース ※2年生より

定時制課程 ≫ 普通科



愛知県立 名古屋西高等学校

〒451-8561 名古屋市西区天神山町4番7号

TEL 052-522-2451 (代表)

052-524-5175 (定時制直通)

FAX 052-522-2664

<https://nagoyanishi-h.aichi-c.ed.jp/cms/>



創立108年の 信頼と実績

生徒の知性を高め、心身を錬磨し
調和のとれた人格の形成に努めます。
質実・剛健・勤勉の精神を持って、
よりよい校風の樹立に努め
平和で民主的な日本の未来を切り拓く
人間を育成する教育を目指します。

歴史と伝統

- 1915 (大正4) 愛知県立第二高等女学校設置
- 1945 (昭和20) 名古屋大空襲により校舎全焼
- 1948 (昭和23) 愛知県立名古屋西高等学校設置
- 1951 (昭和26) 定時制課程設置
- 1972 (昭和47) 定時制課程募集停止
→ 児玉高等学校として併設独立
- 1998 (平成10) 児玉高等学校閉鎖
→ 名古屋西高等学校定時制課程へ
- 2015 (平成27) 創立100周年記念事業実施
- 2018 (平成30) 創造表現コース開設、こだまスタジオ完成



泉二の頃の校舎



戦災で唯一焼け残った蘇鉄

創立108年目を迎えた本校は、芥川賞作家をはじめ、多くの
著名人を卒業生として輩出してきました。そして、今、名西は、創
造表現という新しい力を得て、歴史と伝統を生かしつつ、新たな
躍進を目指し、確実な歩みを始めています。

Curriculum

学習の流れ

文型・理型の類型選択およびコース選択を2年生から
実施し、3年生では文型を国文型と私文型に分け、さら
に選択科目を取り入れるなど、進路に適した学習がで
きるようにしています。



2024年度入学生教育課程

1年生

単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
共通履修	現代の国語	言語文化	歴史総合	数学I	数学II	数学A	物理基礎	生物基礎	体育	保健	*1 芸術	英語コミュニケーションI	論理・表現I	家庭基礎	総合	L	T															

2年生

単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
理型	論理国語	古典探究	地理総合	公共	数学II	数学III	数学B	数学C	物理基礎	化学基礎	化学	体育	保健	英語コミュニケーションII	論理・表現II	情報I	総合	L	T													
文型	論理国語	文学国語	古典探究	地理総合	日本史探究	世界史探究	公共	数学II	数学B	数学C	化学基礎	体育	保健	英語コミュニケーションII	論理・表現II	情報I	総合	L	T													
創造表現コース	論理国語	古典探究	地理総合	日本史探究	公共	数学II	化学基礎	体育	保健	英語コミュニケーションII	論理・表現II	情報I	英語表現I*	ダンス表現I*	舞台*表現I	総合	L	T														

3年生

単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
理型	論理国語	古典探究	政治・経済	数学III*	(α, β)	理型数学*	物理基礎	生物基礎	化学基礎	体育	保健	英語コミュニケーションIII	論理・表現III	総合	L	T																
私文型(文I)	論理国語	文学国語	古典探究	日本史探究	世界史探究	倫理	数学A	文型*理科	体育	英語コミュニケーションIII	論理・表現III	総合	L	T																		
国文型(文II)	論理国語	文学国語	古典探究	日本史探究	世界史探究	倫理	応用数学*	物理基礎	化学基礎	体育	英語コミュニケーションIII	論理・表現III	総合	L	T																	
創造表現コース	論理国語	古典探究	日本史探究	発展日本史	数学A	文型*理科	体育	英語コミュニケーションIII	論理・表現III	言語*表現II*	※3 選択3	舞台*表現II	※4 選択4	総合	L	T																

※1 … 1年生の芸術は音楽I、美術I、書道Iより選択
 ※2 … 3年生文I、文IIの「選択2」は「発展日本史*」「発展世界史*」より選択
 ※3 … 3年生創造表現コースの「選択3」は「ダンス表現II*」「メディア表現*」より選択
 ※4 … 3年生創造表現コースの「選択4」は「アートデザイン*」「ミュージックハーモニー*」「衣食住の表現*」より選択
 *の付いた科目は学校設定科目

多様な価値観を育み、
グローバル社会に通用する
人材を育てる

創造表現 コース

演劇・ダンス・国語や英語の表現などの
授業を通して…

- 自己表現力、企画力などの創造性を育成
- コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力などの表現力を育成



講師陣 一流のアーティストを特別外部講師としてお招きし授業を展開していきます!



まほろば 遊さん ダンス表現I・II

このコースは、ダンスを通して、“挑戦する気持ち”“あきらめない心”“チームワークの大切さ”をダンス理論と実践で体験していくコースです。
初めてダンスを経験する人も、呼吸法を取り入れたクラシックバレエの基礎トレーニング、ジャズのリズムに合わせて踊る練習を重ねていくことで、ダンス技術が向上している自分を

自覚できるでしょう。
発表の場では、素晴らしいダンスとキラキラの笑顔、創造性豊かな表現力で、観る人を感動させるダンス表現ができるようになり、更に自信がついてきます。
この時にしかできない貴重な経験は、きっとあなたの人生の支えとなり、素晴らしい夢と希望を与えてくれることでしょう。

まほろば・ゆう | 宝塚歌劇団出身。作詞・作曲・歌唱から企画・構成・演出など自身でプロデュースを行う。
名古屋芸術大学客員教授。名古屋音楽学校特別講師。



諏訪哲史さん 言語表現I

本校の卒業生には作家の他にも芸術の「表現者」が多い。そもそも生きるとは人や世界に向けて表現することだ。表現するには人前でも物怖じせぬ特別な勇氣、「道化力」が要る。芸術には特に要る。先人たちがいかに道化力で羞恥を跳ねのけながら、生という自己表現へ身を挺してきたか。君たちが西高へ来たなら、何をおいても真っ先に身につけねばならぬ力がこの道化力だ。そしてそれを使って、今まで出現しなかった未知の表現をこの世界に投げ込んでやる。これでも喉えたと、

君自身の生き方を世界へ投下してやるのだ。それが真に新しい、既存の様式から「逸脱」した表現なら、君の瞬しかない生には永遠の命が冠される。芸術だけではない。あらゆる分野の変革者がこの道化力を必要とする。それを培う環境が西高、とりわけ創作表現コースに濃密にある。どこにでもいる人間でよい者はそうしている。どこにもいない人間を志す者、この門を叩き、この門より出でよ。

すわ・てつし | 2007年『アサツテの人』(講談社)で芥川賞・群像新人賞受賞。本校卒業生。
主な作品に『スットン経』『りすん』『ロンバルディア遠景』『領土』『岩塩の女王』がある。

柴 幸男さん **舞台表現I・II**
劇作家・演出家・劇団「ままごと」主宰
岸田國士戯曲賞受賞、本校卒業生

石田麻利子さん **言語表現II**
朗読家・アナウンサー

— そのほか 中日新聞記者、文芸評論家など

学習の4つの柱

言語表現I・II

自分の考えや思いを、文章を通して豊かに表現するスキルを身に付けます。論理的な文章に習熟するのみならず、小説・韻文等の創作体験も積むことで、自分の文体を確実に身に付けていきます。

英語プレゼンテーションI・II

英語で自分の意見を発信し、意見交換を行なうことを繰り返すことで、英語による表現に慣れていきます。そして、英文の内容を元にディスカッションやプレゼンテーションを行い、自分の興味のある分野を深めていきます。

身体表現

[舞台表現I・II]

演技の実践や舞台芸術の鑑賞などを通して、表現方法の知識と技術を身につけながら、言語感覚・自己表現力を磨き、独創性・主体性・協働性を培います。なお、3年次にはオリジナル劇の上演を目指します。

[ダンス表現I・II]

テーマにふさわしいイメージを捉え創作して、個や群で緩急をつけた動きや空間の使い方を学びます。そして、即興的な表現や作品づくりを目指します。活動を通して身体的な表現力を育てます。

メディア表現

様々なソフトウェアを用いた表現方法を学び、多様な作品作りに挑みます。思考錯誤を重ねることで、表現したいものが本当に表現できているかを見極める力も育てます。

大学との連携

名古屋大学、愛知県立大学、名古屋芸術大学、愛知淑徳大学等と積極的に連携をとり、高大連携の成果を取り入れていきます。創造表現コースのカリキュラム全般については、名古屋大学大学院教育発達科学研究科柴田好章教授の指導の下、その内容の充実を図っています。

進路指導での充実したサポート

- ◆進路指導部の発行する「羅針盤」には、進路に関する情報や、学習に向けての指針が示されています。
- ◆1年生から進学に向けての補習を実施し、実力を備えられるようにしています。
- ◆学習室を開放し、多くの生徒が早朝や授業後に利用しています。
- ◆「名西大学講座」では、大学の先生を招き、学部ごとの説明会を実施しています。
- ◆学年ごとにテーマを設定し、進路設計や学習計画を立てやすいように指導しています。
- ◆模試等の結果を分析し、ひとりひとりに合った進路を個人面談を通して考えていきます。

名西独自のキャリア教育への取り組み

1年生の総合的な探究の時間

平成26年
スタート

『西高生の主張』

「人類にAIは早すぎる」や「昆虫食が人々を救う」など、生徒が主張したいテーマを1人1つずつ持つことから始め、ポスター作りやプレゼンをして主張を深めます。また、テーマに関連する企業や団体を、生徒自身が見つけて連絡し、社会人インタビューに挑戦します。その交流を通して、勤労観や職業観の形成を図ります。

生徒主体の活動

週1時間の授業の多くはそのねらいや進め方の指導を受けた生徒2名によって進められます。教員ではなく生徒が主体となることで、自由な雰囲気活発な意見交換をしています。

プレゼン大会

選ばれた代表チームは1学年全員の前でプレゼンテーションを行います。パワーポイントの効果を駆使するチームや寸劇を交えるチームなど、工夫をこらした発表が繰り広げられ、最優秀のチームを選出します。



2年生の総合的な探究の時間

令和3年
スタート

『探究活動』

自分の好きなことや社会問題、あるいは身近な疑問等を出発点にして「答えのない問い」を設定し、自分なりの答えを突き詰めていく活動です。『西高生の主張』よりも学術的で社会的な課題に挑戦し、これからの社会で求められる課題設定力や課題解決力を身につけていきます。また、多くの書物を読むことで読解力も身につきます。

課題設定

AIがどれだけ進歩しても、扱うのは人間です。適切な課題設定がなければAIを効果的に扱うことはできません。本校の『探究活動』では課題設定に重きを置き、時間をかけて取り組みます。

検証・発表

大学生が読むような論文を読み、情報収集をします。得られた情報の統合や実験、アンケートをして情報を分析し、自分なりの答えを支える論拠を手に入れていきます。最後はデータや出典を示しながらポスターやプレゼンで発表をします。



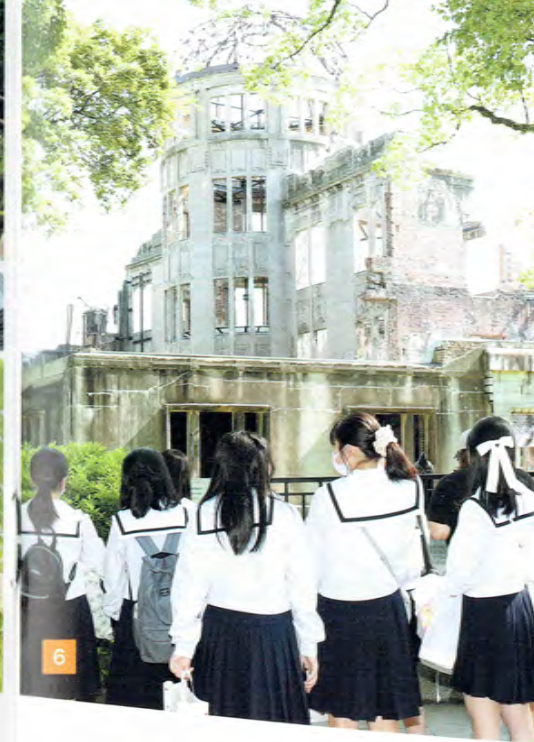
近年の主な合格大学 (既卒生を含む)

国公立四年制大学

京都大学	広島大学	福井大学	名古屋市立大学
名古屋大学	静岡大学	富山大学	静岡文化芸術大学
名古屋工業大学	岐阜大学	滋賀大学	長野県立大学
愛知教育大学	三重大学	愛知県立大学	富山県立大学

私立四年制大学

南山大学	愛知工業大学	早稲田大学	同志社大学
名城大学	中部大学	上智大学	立命館大学
愛知大学	愛知医科大学	明治大学	関西学院大学
中京大学	藤田医科大学	法政大学	近畿大学



修学旅行は広島(平和学習)、岡山、四国方面に2泊3日で行います。

主な年間行事 (令和5年度)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入学式 1年生 オリエンテーション 2・3年生 実力テスト	1・3年生 遠足 2年生 修学旅行 3年生 前期補習開始 1学期中間考査	交通安全講話 1学期期末考査 3年生 保護者進路説明会 1・2年生 保護者類型進路説明会	全学年 夏期補習 保護者会	3年生 夏期補習 学校説明会	3年生 後期補習開始 西高祭(体育祭・文化祭) 実力テスト	2年生 後期補習開始 2年生 学部学科説明会 2学期中間考査 AED講習会 防災指導	2学期期末考査 創造表現コース成果発表会	3年生 冬期補習 保護者会 人権講話	3年生 学年末考査 共通テスト 実力テスト	1・2年生 学年末考査 総合的な探究の時間最終発表 高校入試	芸術鑑賞会 球技大会 卒業式

Campus Calendar



Club Activity



(陸上部) 令和4年度 東海総体出場
令和5年度 円盤投げインターハイ出場



部活動紹介

運動部

- 剣道部
- 柔道部
- 卓球部
- 水泳部
- 体操競技部
- 陸上競技部
- 軟式野球部
- ソフトテニス部(女)
- テニス部
- バスケットボール部
- バレーボール部
- バドミントン部(女)
- ラグビー部
- サッカー部



(軟式野球部) 令和4年度 東海総体出場



(津軽三味線部) 令和3年度 CBCテレビ「チャント」で紹介

文化部

- 演劇部
- 家庭部
- 茶道部
- 生物部
- 天文部
- 美術部
- 作画文芸部
- J & F部
- 吹奏楽部
- ダンス部
- パソコン部
- 放送部
- 津軽三味線部
- 合唱部



(美術部) 令和5年度 全国高等学校総合文化祭に8年連続で出品



定時制（普通科）

本校定時制の教育

- きめ細やかな指導による基礎・基本の徹底
- 進学や就労への意識を喚起するキャリア教育の充実
- 通信制高校での単位取得（併修）により、3年間での卒業も可能
- 3・4年生は修得したい科目を中心に選択して学ぶ（単位制）

生徒数

1年		2年		3年		4年		全学年	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1	11	6	6	7	1	5	5	19	23
合計 12		合計 12		合計 8		合計 10		合計 42	

令和5年4月現在

年間行事

- | | |
|---|----------------------------------|
| 4月 入学式・進路実現に向けて① | 9月 進路実現に向けて③ |
| 5月 定期考査・進路実現に向けて② | 10月 生活体験発表・定期考査
体育祭・進路実現に向けて④ |
| 6月 保護者会・校内生活体験発表
球技大会
修学旅行（2年に1度実施）
※令和5年度は6月に実施 | 11月 校外行事・進路実現に向けて⑤ |
| 7月 定期考査 | 12月 定期考査 |
| 8月 学校説明会 | 1月 学校説明会・進路実現に向けて⑥ |
| | 2月 定期考査 |
| | 3月 卒業証書授与式 |



部活動

- バドミントン部 [令和5年度 全国大会に3年連続で出場]
- ボランティア部

同窓会 （名西会）

大正8年3月の第1回卒業生の同窓会結成から始まり、昭和2年には「双葉会」となり、昭和23年「名西会」として発足しました。現在、会員総数は3万人を超えています。毎年6月の第1日曜日に本校体育館で総会を開催し、卒業生の集いの場になっています。また、部活動など顕著な業績をあげた在校生に賛助金を授与しています。

関東支部は、関東一円在住の県二、名西の卒業生による名西会支部として昭和34年に発足以来、1,300名を超える会員登録があり例年100名程が参加した活動が行われています。

本校の 著名な卒業生

水谷研治 (昭和40年卒業)
経済学者

武藤光一 (昭和47年卒業)
元商船三井社長・元日本船主協会会長

清水義範 (昭和44年卒業)
作家 (吉川英治文学新人賞)

諏訪哲史 (昭和63年卒業)
芥川賞作家



—特別講師の授業—



言語表現 (諏訪哲史先生)

西高生なら「道化力」を見せる

本校の卒業生には作家の他にも芸術の「表現者」が多い。そもそも生きるとは人や世界に向けて表現することだ。表現するには人前でも物怖じせぬ特別な勇氣、「道化力」が要る。芸術には特に要る。先人たちがいかに道化力で羞恥を跳ねのけながら、生という自己表現へ身を挺してきたか。君たちが西高へ来たなら、何をかいても真っ先に身につけねばならぬ力がこの道化力だ。そしてそれを使って、今まで出現しなかった未知の表現をこの世界に投げ込んでやる。それでも喰らえと、君自身の生き方を世界へ投下してやるのだ。それが真に新しい、既存の様式から「逸脱」した表現なら、君の一瞬しかない生には永遠の命が冠される。芸術だけではない。あらゆる分野の変革者がこの道化力を必要とする時代。それを培う環境が西高、とりわけ創造表現コースに濃密にある。どこにでもいる人間でよい者はそうしている。どこにもいない人間を志す者、この門より入り、この門より出でよ。

諏訪哲史 (すわ・てつし)
2007年『アサッテの人』(講談社)で芥川賞・群像新人賞受賞。本校卒業生。
主な作品に『スットン経』『りすん』『ロンバルディア遠景』『領土』『岩塩の女王』がある。

ダンス表現 (まほろば遊先生)

このコースは、ダンスを通して、“挑戦する気持ち”“あきらめない心”“チームワークの大切さ”をダンス理論と実践で体験していくコースです。

初めてダンスを経験する人も、呼吸法を取り入れたクラシックバレエの基礎トレーニング、ジャズのリズムに合わせて踊る練習を重ねていくことで、ダンス技術が向上している自分を自覚できるでしょう。

発表の場では、素晴らしいダンスとキラキラの笑顔、創造性豊かな表現力で、観る人を感動させるダンス表現ができるようになり、更に自信がついてきます。

この時にしかできない貴重な経験は、きっとあなたの人生の支えとなり、素晴らしい夢と希望を与えてくれることでしょう。

まほろば遊 (まほろば・ゆう)
宝塚歌劇団出身。作詞・作曲・歌唱から企画・構成・演出など自身でプロデュースを行う。
名古屋芸術大学非常勤講師。名古屋音楽学校特別講師。



—授業内容—

《全員履修》

舞台表現 I・II

はじめは呼吸法から発声練習、滑舌のトレーニングをしながら、身体全体を使って表現することを学びます。その後、特別非常勤講師の先生方から音響・照明・大道具・アクションを学び、3年の成果発表会に向けて稽古を行います。

英語プレゼンテーション I・II

「将来の夢」「SDGs」などをテーマに、英語でプレゼンテーションを行う際の表現技法を学びます。身ぶり、抑揚、グラフ等の効果的な使い方を、反復練習で身につけます。

言語表現 II

特別非常勤講師の先生方による授業を行います。

- 1 石田麻利子先生 (朗読家)
- 2 小松原康平先生 (中日新聞社記者・本校卒業生)
- 3 角田達朗先生 (愛知淑徳大学教授)
- 4 永井聖剛先生 (愛知淑徳大学教授)

発声・ボイストレーニングの基本、文章を読み込んだ朗読の工夫。
文章作成の基礎、取材の仕方、メディアリテラシーとは、小論文の書き方。
新聞社デスクの経験から、丁寧な添削を受けることができる。
大学の模擬授業。自作の戯曲台本をもとに演劇論。
大学の模擬授業。「ものごとばのつながり」

成果発表会とは?

10月末に行われる、それぞれの授業で培った力を
ステージで披露する場です。
2022年度は西文化小劇場で行いました!

《選択履修》

ダンス表現 I・II

まほろば遊先生を特別講師に迎え、クラシックバレエやジャズの動作を中心に楽しく身体表現について学んでいます。親しみやすいアニソンにのせてダンスの振りをする事で、自己開放をすることから始まり、課題曲をグループで創作しながらイメージを膨らませ、最終的には成果発表会に向けてチームとして作品を創り上げます。ダンスなどの未経験者でも2年間で素晴らしい成長を遂げることができるので、自分に期待をして取り組むことができます。

言語表現 I

2年生1・2学期に諏訪先生の講義を受け、古今東西の書物を読み、その表現方法を自己に取り入れていきます。2学期の最後に小説の創作をします。

メディア表現

様々なソフトウェアを用いた表現方法を学び、作品作りに挑みます。
3DCGや成果発表会向けの展示・スライドを作成します。

アートデザイン

進路に向けて個別に応じた課題、研究テーマを設定して完成の成長を促していきます。アート・デザインの実技を中心に制作や発表活動を通して創造表現の基礎を身につけ、幅広い対応力を養っていきます。

ミュージックハーモニー

ミュージカルやオペラなどの歌唱をはじめ、器楽・鑑賞の授業を通して幅広い音楽に触れ感性を磨きます。アンサンブルでは、仲間と一緒に表現や響きの調和を追求・思考し、一つの曲を作り上げていきます。

衣食住の表現

衣食住に関わる具体的なテーマを考え、調査や実践研究、意見交換をします。活動は調理や制作実習を中心に行い、実践力、コミュニケーション力、協働する力を養い、他者によりよい生活の提案や異文化の紹介などができる表現力を身につけていきます。